

東芝は1985年に世界初のノートパソコン(PC)を出荷して以来、液晶ディスプレイ(LCD)のカラー化、高精細化、DVD搭載などいくつもの世界初の技術をノートPCで実現し、常に“驚きと感動”と“安心と安全”をユーザーに感じていただける商品を提供してきました。

2006年には、世界で初めて地上デジタル放送とHD DVDに対応したAV ノートPC “Qosmio”^(注)を商品化し、高精細で奥行き感のある美しいHD (High Definition) 映像を実現しました。近年、高品位なデジタルAV コンテンツ(音楽、映像など)が増加し、デジタル放送と高速インターネット通信環境の普及により、放送と通信が融合された様々なサービスがグローバルな規模で展開されています。当社のノートPCはこのようなサービスとコンテンツを“いつでも、どこでも、パーソナルに楽しみたい”というユーザーの声に十分に答える商品です。

また、ノートPC がビジネスのツールであるユーザーからは“いつでも、どこでも、安心して安全に利用できるノートPC”という強いニーズがあります。当社は、常に軽さや薄さ、バッテリー駆動時間の長さを追求するとともに、ユーザーのデータを衝撃、故障、及び盗難から守り、それでも使いやすさは損なわず、安心して使える高品質なノートPC を目指して挑戦を続けています。

2007年1月に米国で開催されたCES2007において、Windows Vista™を搭載した次世代モバイルPC “Protégé R400”^(注)をマイクロソフト社と共同で発表し、その新しい利用シーンに多くの注目が集まりました。

当社には、長年培ってきた技術と、その技術により常に新しい世界を実現したいという技術者の遺伝子があります。これらにより、ますます魅力あるイノベティブな商品を今後も続々と提供していきます。

(注)ハイライト編のp.3, 6, 7, 12に関連記事掲載。

統括技師長 真田 勉

● 新モバイルノートPC dynabook SS MX/3シリーズ

新モバイルノートPCとして、dynabook SS MX/3シリーズを2006年4月に発売した。

モバイル可能な質量1.9kgを維持しながらも、デュアルコアCPUやDVDスーパーマルチドライブを搭載した12型ワイド液晶モデルである。外観デザインにこだわり、特に天板色は、ターゲット層へのグループインタビューの結果、個性的ながら落ち着いた印象を持つラメのように輝くネイビーとし、持ち出す際の美しさを意識した。また、堅ろう性とセキュリティにも配慮し、東芝HDDプロテクション、ウォータブロック構造、ショックプロテクタ、プロテクトラバー、指紋センサなどを備え、ユーザーのモバイルシーンを支える。

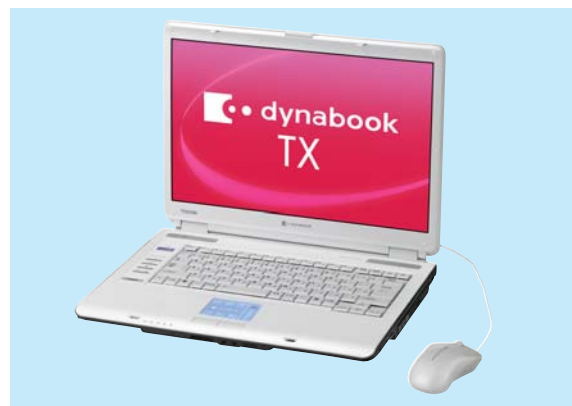


新モバイルノートPC dynabook SS MX/3
dynabook SS MX/3 new mobile notebook PC

● ノートPC dynabook AX/TX/VXシリーズ

コンシューマノートPCの2006年の主力商品として、dynabook AX/TX/VX(海外モデル: Satellite A100)シリーズを投入した。

このシリーズは、15.4型ワイドサイズのLCDと最新のIntel® CPUをサポートし、harman/kardon®ステレオスピーカーや光るタッチパッド、各種メモ리카ードに対応できるブリッジメディアカードスロットを備えたバリュースタンダードマシンである。デザインも、ゆるやかなカーブをつけたラウンドフォルムとスタイリッシュかつパールホワイトのボディを採用して、好評を得ている。当社の国内向けPCの店頭系商品の約70%の販売数量を支えている。



ノートPC dynabook TX
Satellite A100 new notebook PC

● UWBドック

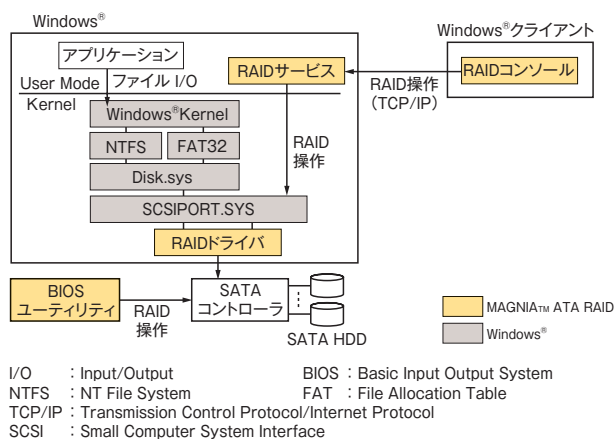


UWBドック
Ultra-wideband (UWB) dock for mobile notebook PCs

次世代モバイルノートPCに新たな付加価値をもたらすUWBドックを開発した。

UWB (Ultra Wide Band) とは3.1GHz以上の周波数帯域を利用する近距離微弱無線通信技術であり、広帯域化によって最大1Gビット/sの高速通信が可能である。DVI (Digital Visual Interface) ポート1個、USB (Universal Serial Bus) ポート4個、LANポート1個、及びオーディオ出力ポート1個を装備し、従来のメカニカル方式ドックと同様の機能を実現した。ワイヤレスで、電波到達圏内に入れば自動的に接続し、離れば自動的に切断されるため、めんどろな脱着操作が不要で、使い勝手の良さが特長の製品である。

● 高信頼性ソフトウェアRAID “MAGNIA™ ATA RAID”



MAGNIA™ ATA RAIDの構成
Configuration of MAGNIA™ ATA RAID

IAサーバ MAGNIA™シリーズに搭載する高信頼性ソフトウェアRAID (Redundant Array of Independent (Inexpensive) Disks) “MAGNIA™ ATA RAID”を開発した。

このRAIDには、SATA (Serial AT Attachment) HDD (磁気ディスク装置) が4台接続可能であり、RAIDレベルはRAID-0 (ストライピング) とRAID-1 (ミラーリング)、RAID-5 (分散パリティ付きストライピング)、RAID-10 (ミラーリング+ストライピング) をサポートしている。また、バックグラウンドでのメディアエラーの自動修復を実現するなど、ディスクシステムの信頼性を高める機能が盛り込まれている。

● コンパクトIAサーバ MAGNIA™ Z330S



IAサーバ MAGNIA™ Z330S
MAGNIA™ Z330S Intel® architecture compact server

サーバとして求められる機能と信頼性をコンパクトな筐体(きょうたい)に備え、更に動作音を抑えたIA (Intel® Architecture)サーバ MAGNIA™ Z330Sを開発した。

冷却ファンのダイナミックなコントロールとCPUを効率的に冷却するダクト構造により、図書館並みの静かな動作音(40 dB)を実現した。また、当社独自のオンボードSATA RAID機能を標準実装し、バックグラウンドでのメディアエラーの自動修復、リビルド時間の短縮、ドライブログの二重化などにより、高い可用性と信頼性を実現した。

幅広い顧客ニーズに応えるため、標準のBSモデルのほかに特定用途向けとして、HDDを障害率の低いフラッシュドライブに置き換えたFモデル、温度環境条件を5~40℃に拡大したTモデルも開発した。

● 高性能IAサーバ MAGNIA™ 2500/2505R

デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサ搭載の2ウェイIAサーバ MAGNIA™ 2500/2505Rを開発した。

高い処理性能のほか、新たにRAID-5, 10にも対応した当社独自開発のオンボードSATA RAIDを標準装備し、信頼性向上と大容量RAID構成を可能にした。

MAGNIA™ 2500は、単一サーバとして求められる基本性能を備え、かつ、コストパフォーマンスに優れたタワー型のサーバである。

MAGNIA™ 2505Rは、ラックへの高密度実装に最適なIU (44.45mm) ラックマウント型のサーバで、本体から離れた場所で画面操作が可能なりモートKVM (Keyboard/Video/Mouse) 機能にも対応できる。

関係論文：東芝レビュー. 62, 1, 2007, p.46-49.

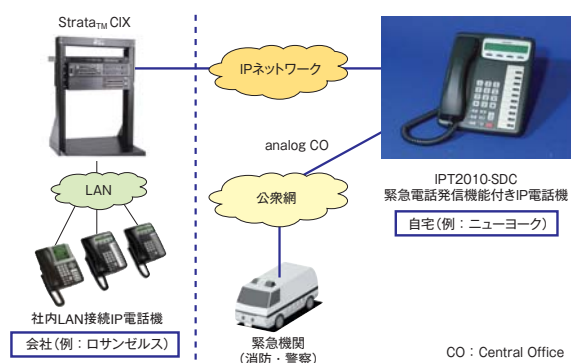


IAサーバ MAGNIA™ 2500/2505R
MAGNIA™ 2500/2505R Intel® architecture high-performance server

● 緊急電話発信機能付きIP電話機 IPT2010-SDC

海外向けビジネスコミュニケーションシステム Strata™ CIX用の緊急電話発信機能を持つIP (Internet Protocol) 電話機 IPT2010-SDCを商品化した。

IP網では通報者の電話番号や位置情報を特定することが難しく、緊急発信時の重要な課題となっている。一方、アナログ公衆回線は地域のローカル交換局に收容されているため、電話番号や位置情報が特定できるようになっている。このIP電話機は、電話機本体に直接アナログ回線の收容と関連機能を追加することにより、緊急通報者の電話番号や位置情報の特定、IP網障害時の自動アナログ回線捕捉(ほそく)、更に、IP回線とアナログ回線の相互切替え通話などを可能にした。



IPT2010-SDCの使用例
IPT2010-SDC IP telephone with analog CO interface

● IPビジネスコミュニケーションシステム Strata™ CIX40

海外向け小規模IPビジネスコミュニケーションシステム Strata™ CIX40を商品化し、中・大規模向けのStrata™ CIX100/200/670と合わせてシリーズ化を完了した。

このシステムは、イーージーインストール機能と小型かつ安価を実現するとともに、中・大規模のオフィスとIPネットワークで接続することにより、様々な規模のビジネスコミュニケーション環境をシームレスに実現できる。また、エンドポイントとしてIP電話機 IPT2000とPC上で動作する“ソフトphone”に加え、SIP (Session Initiation Protocol) 端末 UIP200やワイヤレスSIP端末 WIP5000を收容できるようにするなど、多彩なラインアップを実現した。



Strata™ CIX40とIP端末
Strata™ CIX40 IP business communication system